大阪工業大学における地域連携の取組について



大阪工業大学の地域連携方針

大阪工業大学は、1922年の創立以来、「世のため、人のため、地域のため、理論に裏付けられた実践的技術をもち、現場で活躍できる専門職業人を育成する」という建学の精神の下、時代と地域のニーズに対応し、即戦力となるフィールド・スペシャリストを現場に供給する形で社会の発展に寄与してきました。

本学では、「教育」「研究」に加え「社会貢献」を第三の使命として位置づけ、地域社会の一員としての自覚のうえに社会との連携強化を図りながら、本学の専門性を生かした知的・人的資源を活用することで、地域社会の発展に寄与してまいります。

PICK UP

大阪工業大学の研究内容

■ 学部・大学院・研究所

梅田キャンパス



ロボティクス＆デザイン工学部／
ロボティクス＆デザイン工学研究科

大宮キャンパス



工学部／工学研究科
知的財産学部／知的財産研究科

枚方キャンパス



情報科学部／情報科学研究科

4学部17学科／4 研究科14専攻

■ 主な研究内容

IT・IoT・AI・ロボティクス、建築・土木、エネルギー・環境、
ライフサイエンス、ものづくり・製造技術、
デザイン、ナノ・材料、その他人文社会科学

社会との対話・
工学知の実装

地域課題解決に向けた活用例

■ 活用分野

防災・防犯、健康・医療、福祉、
教育、農林水産業、環境、
都市整備、交通、水道・下水道、
デジタル人材育成・確保、移住・定住、
スマートシティ、観光、文化・スポーツ

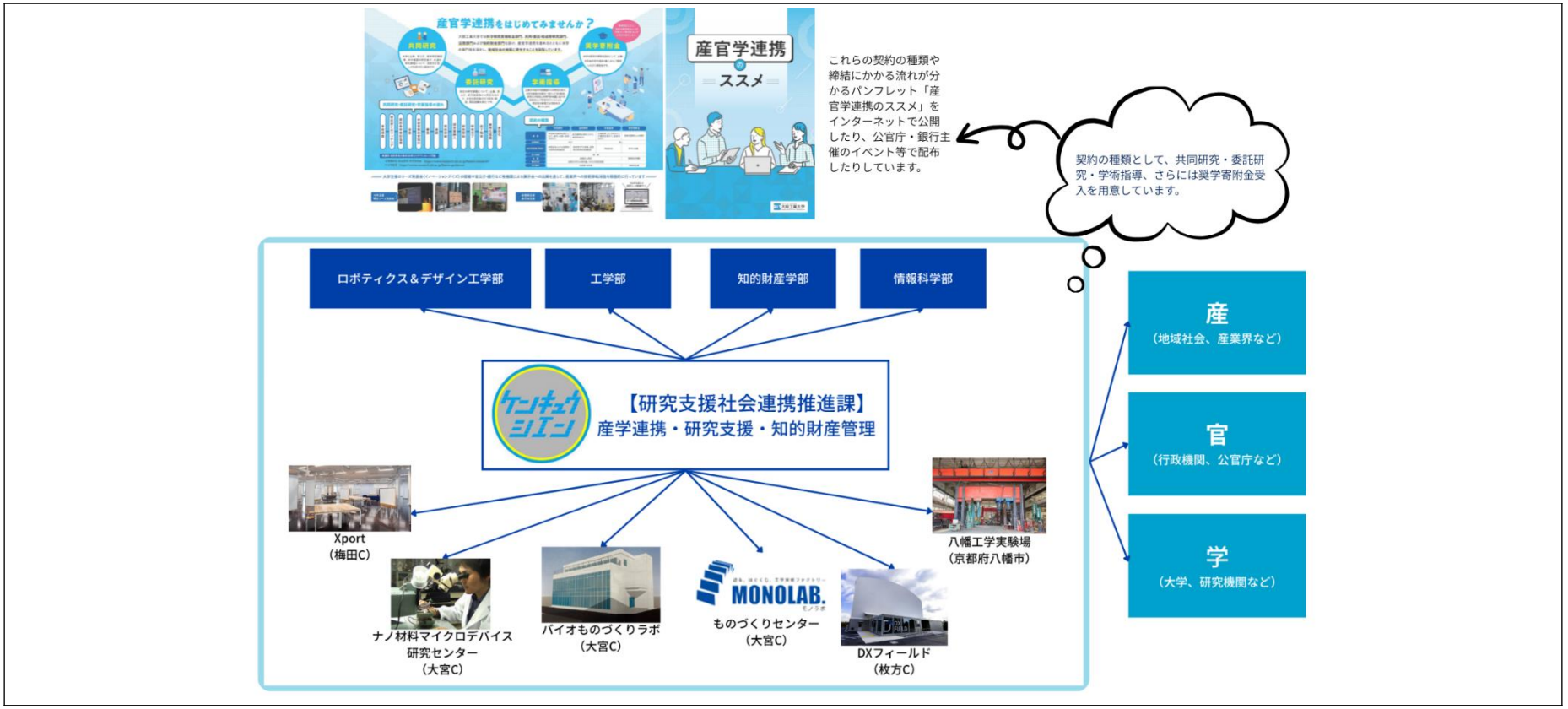
■ 活用例

拡張現実感（Indirect AR）による
特別史跡・百済寺跡の復元ARガイド作成 など

地域との連携形態について

地域との連携形態

地域企業・自治体が抱える課題や、より一般的な社会課題の解決については、学長室直下の研究支援社会連携推進課が中心となり、工学部・ロボティクス＆デザイン工学部・知的財産学部・情報科学部に所属する研究者の専門性、各産学連携拠点の特長を勘案して産官学連携のコーディネートを進めております。



参考URL：（研究支援社会連携推進課）https://www.research.oit.ac.jp/　（Instagram）https://www.instagram.com/oit_kenkyu/
（産官学連携のススメ）https://www.research.oit.ac.jp/crssc/wp-content/uploads/2023/10/leaflet_2023.pdf

地域との連携実績について

地域との連携実績

大阪工業大学では、3つのキャンパス（大宮・枚方・梅田）の所在地となる自治体（大阪市旭区・北区・枚方市）や商工会議所（北大阪商工会議所、大阪商工会議所）との連携によるプロジェクトの実施はもちろんのこと、各教員の教育研究活動における特定のプロジェクトの実施にかかり、遠隔地の自治体との連携も進めてきました。

・ 過去5年の連携実績

年度	主な連携事例
2024年	・枚方キャンパスにIoTやAIなどの最新デジタル技術にかかる大規模実証実験施設DXフィールドを開所したことに伴い、枚方市、北大阪商工会議所、枚方信用金庫と本学との間でDX推進に関する連携協定を締結。 ・奈良県十津川村と本学との連携協定の一環として、工学部都市デザイン学科の教員にて、豪雨時深層崩壊危険度予測・監視にかかる調査研究を実施（2015年より実施し、2024年度調査で10回目）。 ・2010年より本学と連携協定を締結する奈良県川上村において、川上村の観光資源PRと情報提供・訪問者の安全確保を目的としたICTインフラ整備として、これまでに整備したWi-Fiスポット、ライブカメラシステム・気象センサーのメンテナンスを継続して行った。
2023年	・洲本市の域学連携事業の一環として、洲本市と本学工学部建築学科が共同で「地域交流拠点施設のリノベーション」を開始。
2022年	・大阪市旭区内の市立小学校全10校の小学校6年生を対象に、「プログラミング体験学習」を実施（継続中）。
2021年	・奈良先端科学技術大学院大学と株式会社ファーストパーソン、高知市消防局、本学との間で、消防防災活動における利活用が期待される無人航空機の操縦者育成にかかる研究開発、運用方法・訓練方法等の確立に向けて、産官学での協力推進に関する協定を締結。

連絡先
大阪工業大学 学長室 研究支援社会連携推進課
TEL：06-6954-4140
Mail：OIT.Kenkyu@josho.ac.jp